

2020～2024年度卒業時アンケート 経年比較・分析編

1.回答数

(1)対象者数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全学部	196[人]	204[人]	209[人]	248[人]	328[人]
薬学部薬学科	43[人]	51[人]	57[人]	62[人]	48[人]
看護学部看護学科	81[人]	73[人]	80[人]	76[人]	78[人]
健康医療科学部作業療法学科			15[人]	28[人]	21[人]
健康医療科学部理学療法学科			53[人]	56[人]	61[人]
心理学部臨床心理学科			-	26[人]	39[人]
国際看護学部看護学科			-	-	81[人]

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

(2)回答数

回答者数(回答率)

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
全学部	176[人]	(89.8%)	175[人]	(85.8%)	193[人]	(92.3%)	234[人]	(94.4%)	290[人]	(88.4%)
薬学部薬学科	42[人]	(97.7%)	45[人]	(88.2%)	51[人]	(89.5%)	57[人]	(91.9%)	45[人]	(93.8%)
看護学部看護学科	70[人]	(86.4%)	66[人]	(90.4%)	71[人]	(88.8%)	73[人]	(96.1%)	74[人]	(94.9%)
健康医療科学部作業療法学科	-	-	-	-	15[人]	(100.0%)	24[人]	(85.7%)	21[人]	(100.0%)
健康医療科学部理学療法学科	-	-	-	-	53[人]	(100.0%)	55[人]	(98.2%)	61[人]	(100.0%)
心理学部臨床心理学科	-	-	-	-	-	-	25[人]	(96.2%)	38[人]	(97.4%)
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	-	-	-	-	51[人]	(63.0%)

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

2.設問について

(1)設問1～8、28、29、31の評価方法は、次の重みづけをして平均を求めている。

項目	加点
満足	1.0
どちらかといえば満足	0.5
どちらともいえない	0.0
どちらかといえば不満	-0.5
不満	-1.0

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない4段階評価としている。

(2)設問10～23の評価方法は、次の重みづけて加点している。

項目	加点
身についた	1.0
どちらかといえば身についた	0.5
どちらでもない	0.0
どちらかといえば身についていない	-0.5
身についていない	-1.0

(3)設問32として、2022年度よりNPS(Net Promoter Score)を算出し、これを用いた分析を行っている。

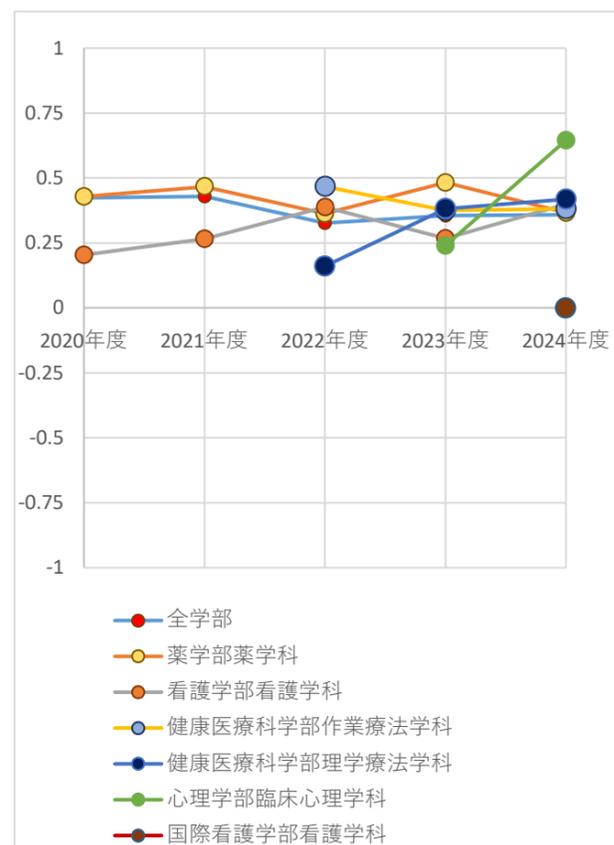
■教育に対する満足度について

1. 初年次教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全学部	0.42	0.43	0.33	0.35	0.36
薬学部薬学科	0.43	0.47	0.36	0.48	0.37
看護学部看護学科	0.20	0.27	0.39	0.27	0.40
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.47	0.38	0.38
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.16	0.38	0.42
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.24	0.64
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.00

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

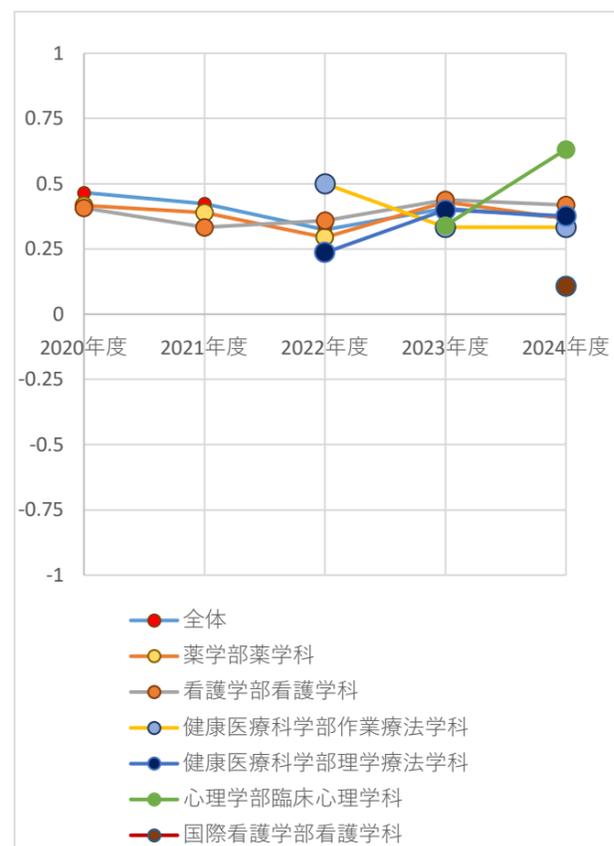


2. 一般教養科目について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.47	0.42	0.32	0.41	0.37
薬学部薬学科	0.42	0.39	0.29	0.43	0.37
看護学部看護学科	0.41	0.33	0.36	0.44	0.42
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.50	0.33	0.33
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.24	0.40	0.38
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.34	0.63
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.11

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

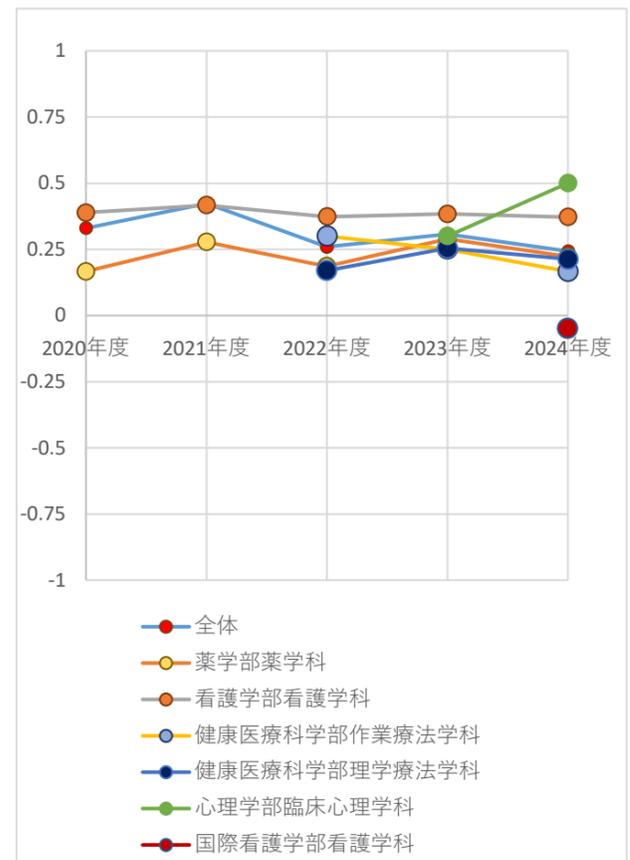


3. 外国語科目について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.33	0.42	0.26	0.31	0.24
薬学部薬学科	0.17	0.28	0.19	0.29	0.22
看護学部看護学科	0.39	0.42	0.37	0.38	0.37
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.30	0.25	0.17
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.17	0.25	0.21
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.30	0.50
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	-0.05

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

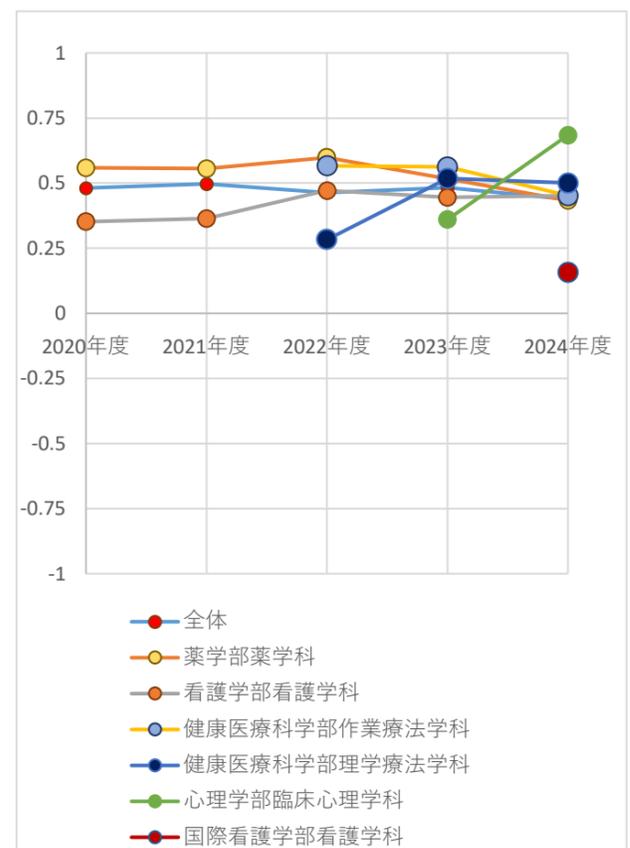


4. 学部学科の専門教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.48	0.50	0.46	0.48	0.44
薬学部薬学科	0.56	0.56	0.60	0.52	0.43
看護学部看護学科	0.35	0.36	0.47	0.45	0.45
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.57	0.56	0.45
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.28	0.52	0.50
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.36	0.68
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.16

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

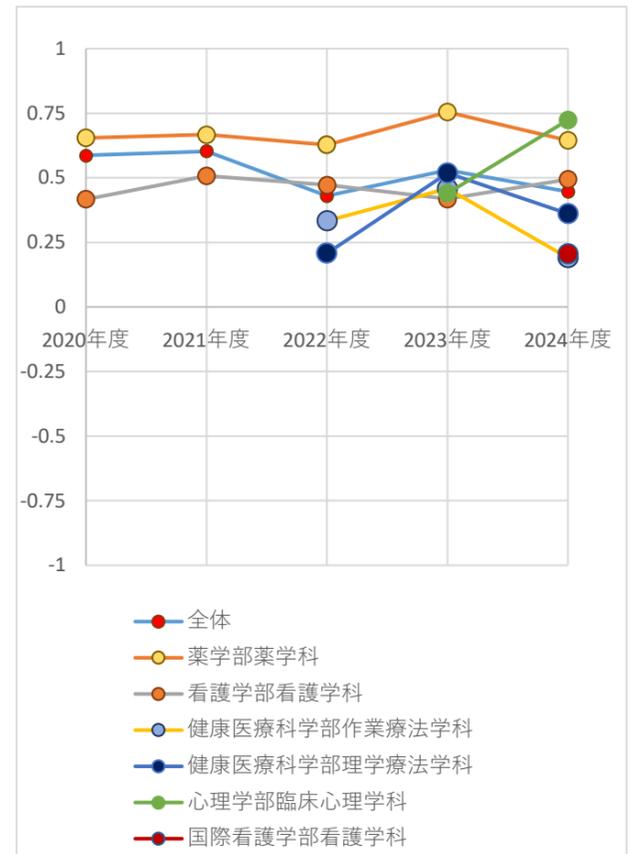


5. セミナールについて、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.59	0.60	0.43	0.53	0.45
薬学部薬学科	0.65	0.67	0.63	0.75	0.64
看護学部看護学科	0.42	0.51	0.47	0.42	0.49
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.33	0.46	0.19
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.21	0.52	0.36
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.44	0.72
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.21

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

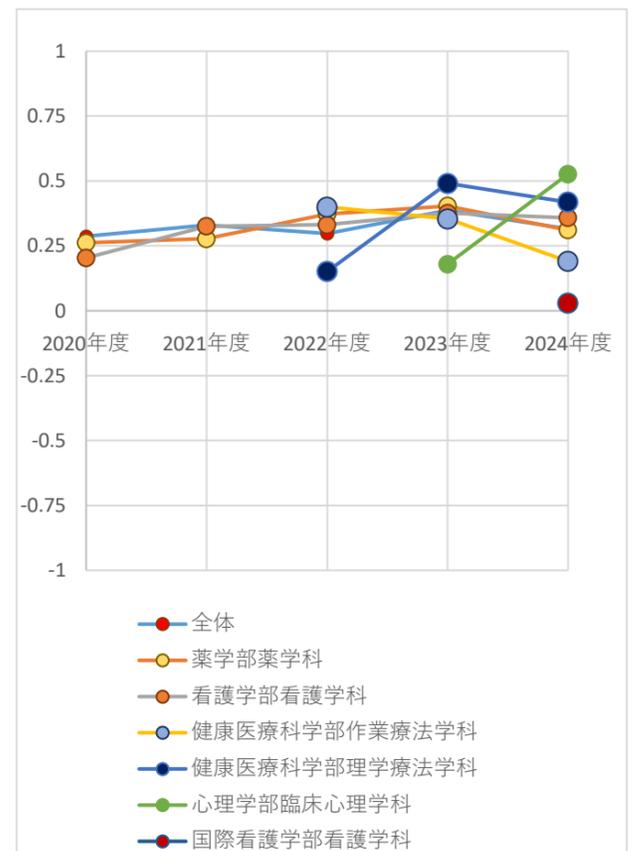


6. キャリア教育について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.29	0.33	0.30	0.39	0.32
薬学部薬学科	0.26	0.28	0.37	0.40	0.31
看護学部看護学科	0.20	0.33	0.33	0.38	0.36
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.40	0.35	0.19
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.15	0.49	0.42
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.18	0.53
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.03

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

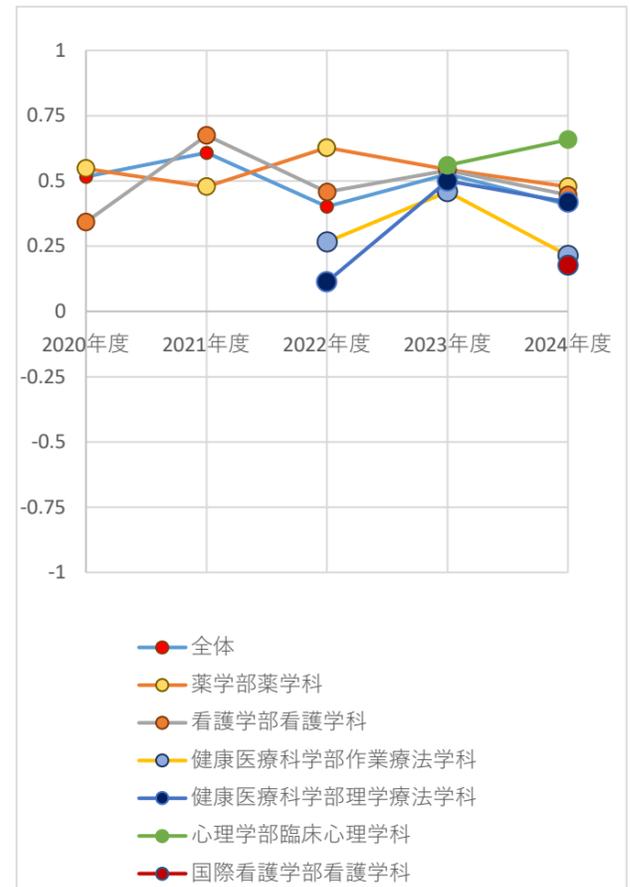


7. 卒業研究について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.52	0.61	0.40	0.53	0.41
薬学部薬学科	0.55	0.48	0.63	0.54	0.48
看護学部看護学科	0.34	0.67	0.46	0.54	0.45
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.27	0.46	0.21
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.11	0.50	0.42
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.56	0.66
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.18

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

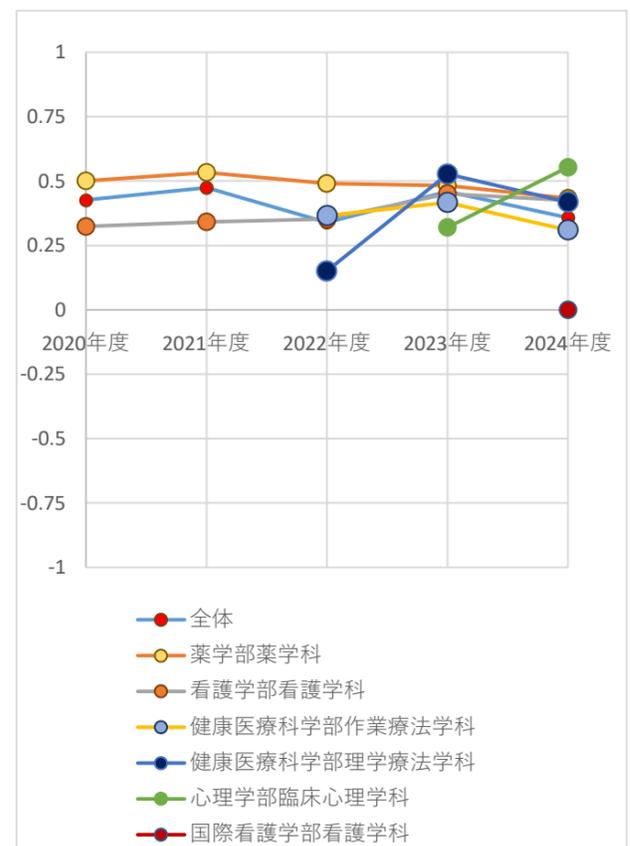


8. カリキュラム全般について、総合的な満足度を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.43	0.47	0.34	0.46	0.36
薬学部薬学科	0.50	0.53	0.49	0.48	0.43
看護学部看護学科	0.32	0.34	0.35	0.45	0.42
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.37	0.42	0.31
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.15	0.53	0.42
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.32	0.55
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.00

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



9. 設問1～設問8の「教育に対する満足度」について、具体的な内容がありましたら、お書きください。

詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

薬ゼミの有用性: 薬ゼミが受験において非常に役立っており、学生の学力向上に寄与していることが高く評価されている。

丁寧な指導: 先生方の指導が丁寧で、学生が楽しく学べる環境が整っているため、学びやすさが感じられる。

看護学部 看護学科

国試対策の手厚さ: 国家試験に向けた対策が非常に手厚く、学生は安心して勉強に取り組める環境が整っている。

親身なサポート: 教員による親身なサポートがあり、質問しやすい環境が整っているため、学生の理解度が向上している。

健康医療科学部 作業療法学科

整った設備と丁寧な指導: 最新の設備が整っており、丁寧な指導が行われているため、実践的なスキルを身につけやすい。

テスト内容の開示不足: テスト内容が事前に開示されないため、学生が復習や学習を効果的に行うことが難しいという不満が挙げられている。

健康医療科学部 理学療法学科

得られた専門的知識: 専門的な知識がしっかりと身に付いていると感じており、実践的な教育が評価されている。

実習の実践性: 実習が実践的で、将来の就職に役立つ内容が多く含まれているため、学生の理解が深まっている。

心理学部 臨床心理学科

学びの機会の豊富さ: 多様な授業があり、豊富な学びの機会が提供されているため、学生の興味を引き出している。

先生との距離の近さ: 教員との距離が近く、学生が質問しやすい環境が整っていることが評価されている。

国際看護学部 看護学科

国際医療の学び: 国際医療に関する幅広い知識が学べる環境が整っており、視野を広げる経験ができる。

教員の真摯な姿勢: 教員が学生に対して真摯に向き合い、サポートしてくれる姿勢が評価されており、安心感がある。

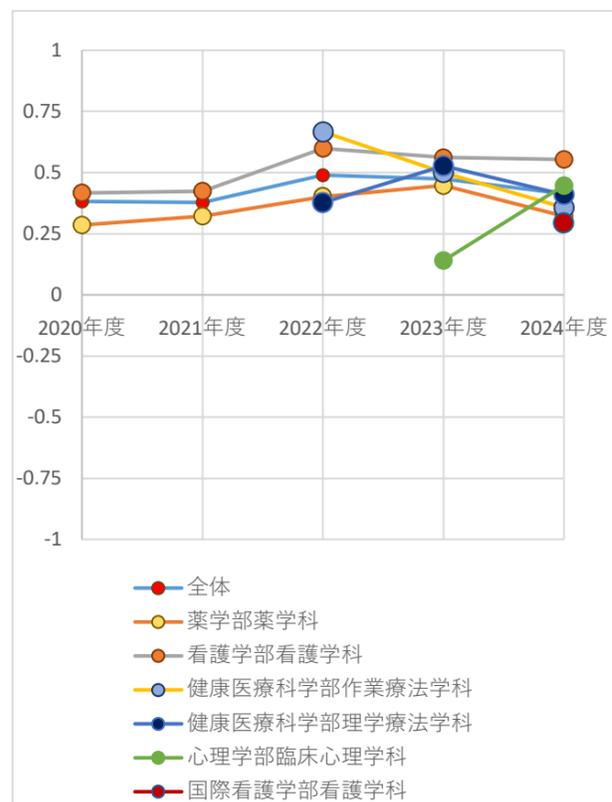
■身につけた力について

設問10.～23.の各項目について、在学中に身についたかどうかの度合いを該当する番号から選択してください。

10. チームワーク、リーダーシップ

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.38	0.38	0.49	0.47	0.41
薬学部薬学科	0.29	0.32	0.40	0.45	0.32
看護学部看護学科	0.42	0.42	0.60	0.56	0.55
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.67	0.50	0.36
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.38	0.53	0.41
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.14	0.45
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.29

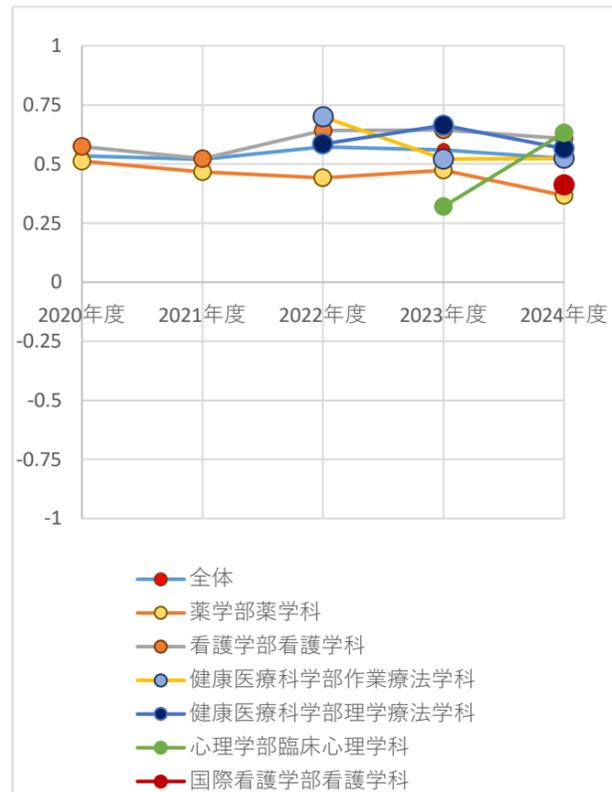
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



11. コミュニケーション能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.53	0.52	0.57	0.56	0.52
薬学部薬学科	0.51	0.47	0.44	0.47	0.37
看護学部看護学科	0.57	0.52	0.64	0.64	0.61
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.70	0.52	0.52
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.58	0.66	0.57
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.32	0.63
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.41

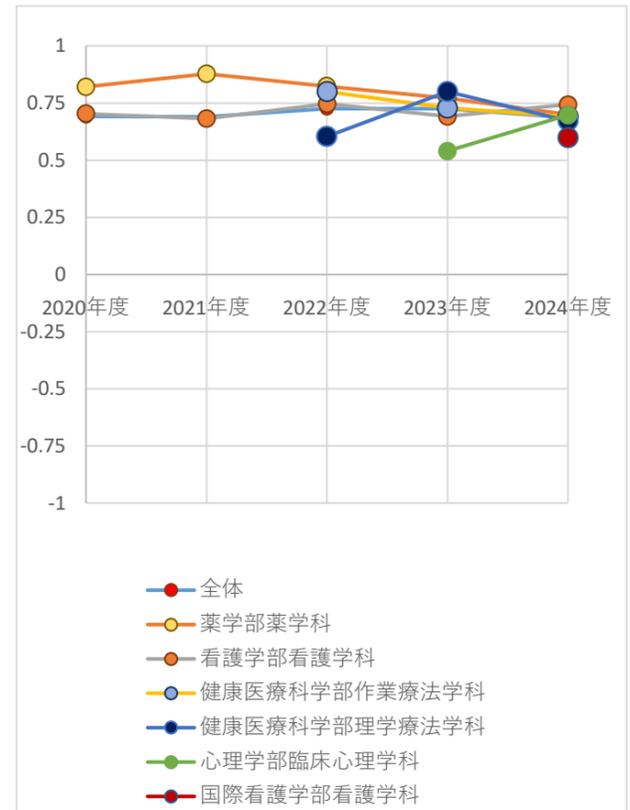
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



1.2. 専門的な知識

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.69	0.69	0.73	0.72	0.69
薬学部薬学科	0.82	0.88	0.82	0.77	0.70
看護学部看護学科	0.70	0.68	0.75	0.69	0.74
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.80	0.73	0.69
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.60	0.80	0.67
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.54	0.70
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.60

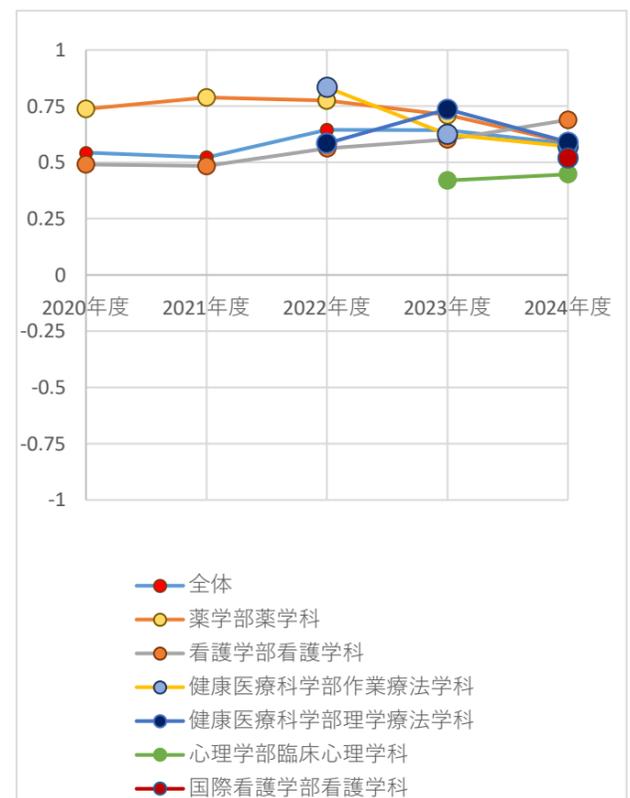
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



1.3. 専門的な技術や技能

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.54	0.52	0.65	0.64	0.58
薬学部薬学科	0.74	0.79	0.77	0.71	0.59
看護学部看護学科	0.49	0.48	0.56	0.60	0.69
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.83	0.63	0.57
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.58	0.74	0.59
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.42	0.45
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.52

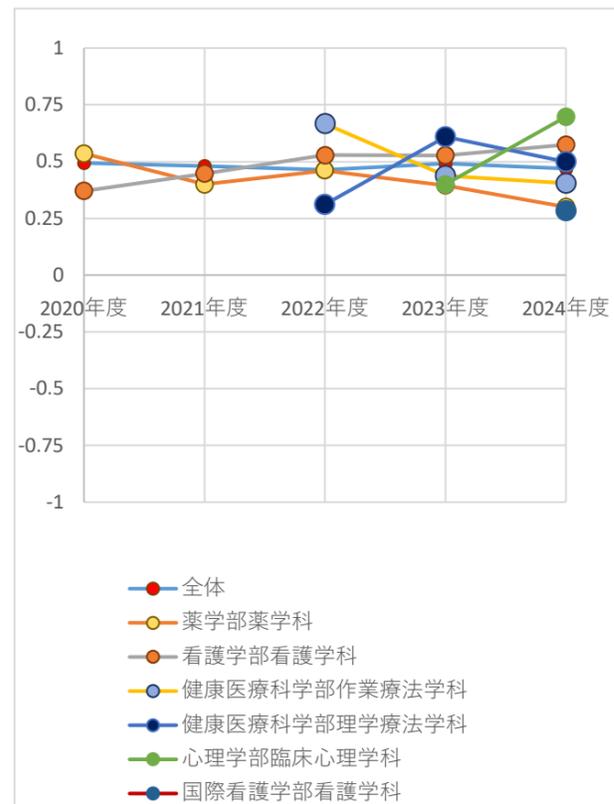
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



1.4. 幅広い教養、一般的知識

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.49	0.48	0.46	0.49	0.47
薬学部薬学科	0.54	0.40	0.46	0.39	0.30
看護学部看護学科	0.37	0.45	0.53	0.53	0.57
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.67	0.44	0.40
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.31	0.61	0.50
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.40	0.70
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.28

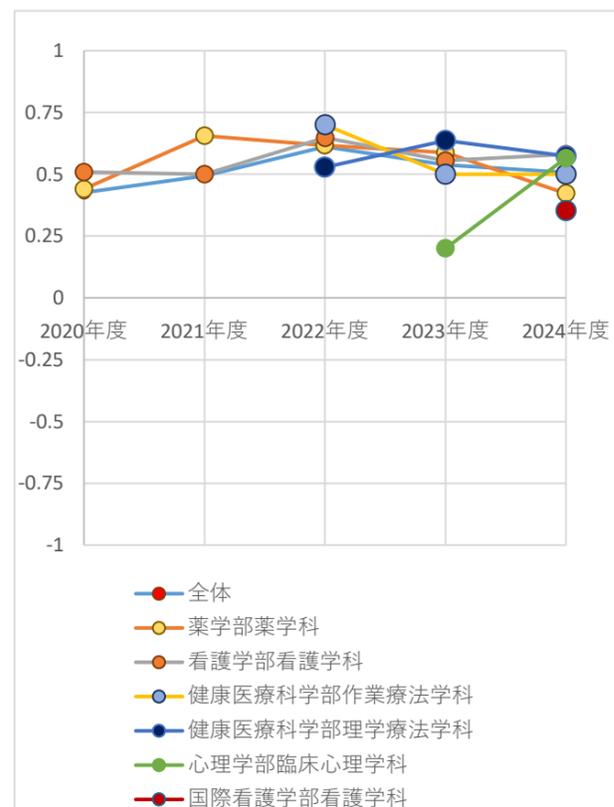
※2020年、2021年の全学部には募集



1.5. 学習習慣、自己啓発力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.43	0.49	0.61	0.54	0.51
薬学部薬学科	0.44	0.66	0.62	0.59	0.42
看護学部看護学科	0.51	0.50	0.65	0.55	0.58
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.70	0.50	0.50
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.53	0.64	0.57
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.20	0.57
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.35

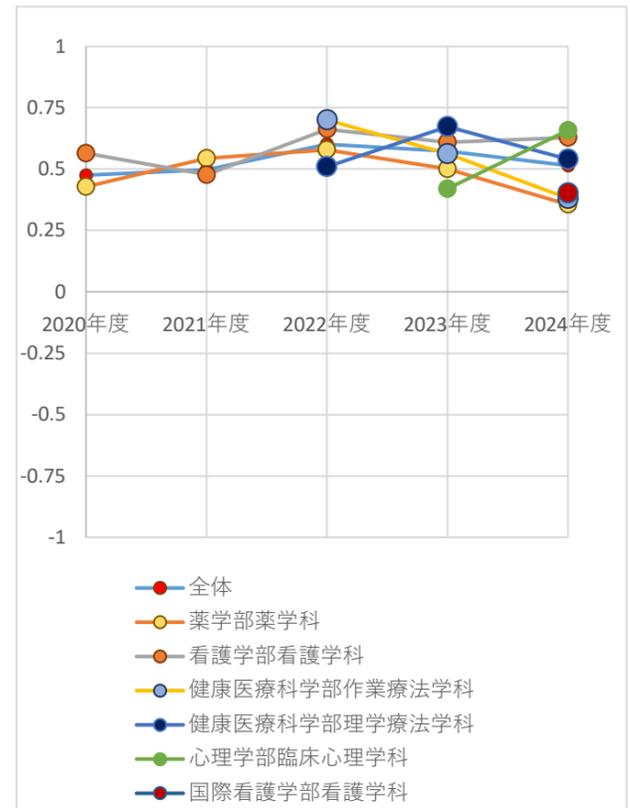
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



1.6. 自己理解、自己管理能力、主体的行動力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.48	0.50	0.60	0.57	0.51
薬学部薬学科	0.43	0.54	0.58	0.50	0.36
看護学部看護学科	0.56	0.48	0.66	0.61	0.63
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.70	0.56	0.38
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.51	0.67	0.54
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.42	0.66
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.40

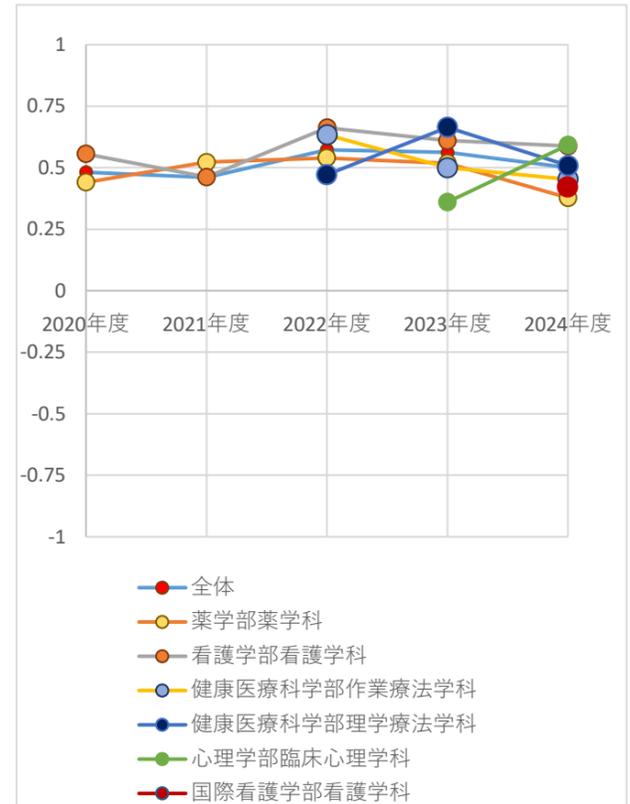
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



1.7. 課題（問題）発見能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.48	0.46	0.57	0.56	0.50
薬学部薬学科	0.44	0.52	0.54	0.52	0.38
看護学部看護学科	0.56	0.46	0.66	0.61	0.59
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.63	0.50	0.45
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.47	0.66	0.51
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.36	0.59
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.42

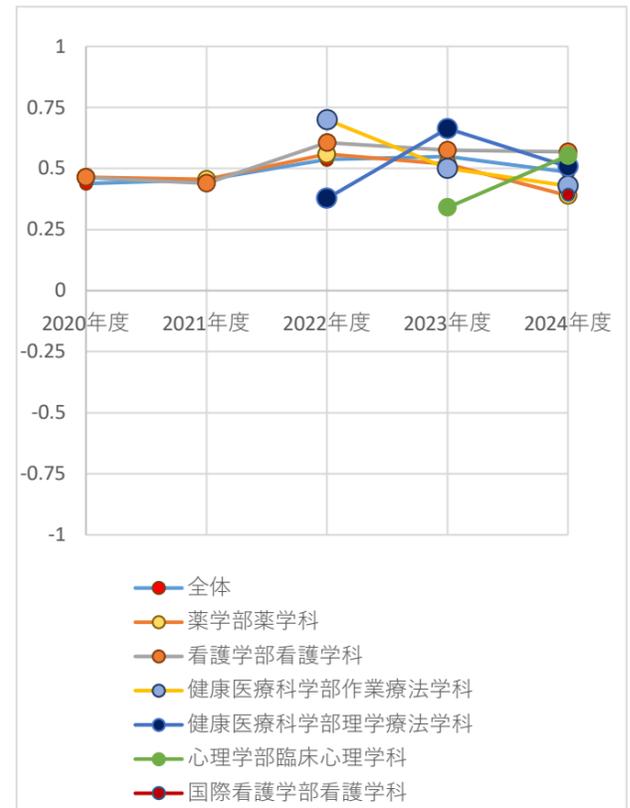
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



18. 課題（問題）解決能力、企画力、計画力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.44	0.45	0.54	0.55	0.48
薬学部薬学科	0.46	0.46	0.56	0.52	0.39
看護学部看護学科	0.46	0.44	0.61	0.58	0.57
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.70	0.50	0.43
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.38	0.66	0.51
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.34	0.55
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.39

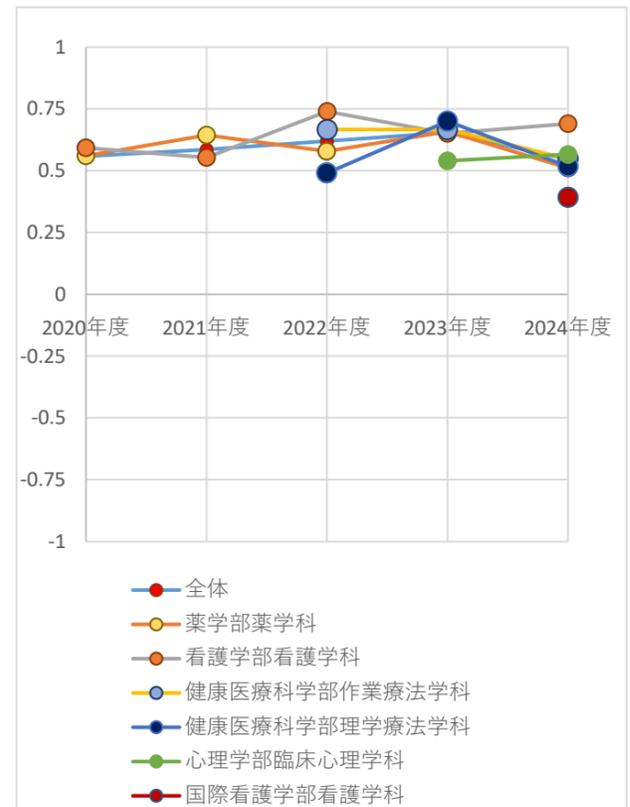
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



19. 倫理観、モラル、コンプライアンス

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.56	0.59	0.62	0.65	0.55
薬学部薬学科	0.56	0.64	0.58	0.66	0.51
看護学部看護学科	0.59	0.55	0.74	0.65	0.69
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.67	0.67	0.55
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.49	0.70	0.52
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.54	0.57
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.39

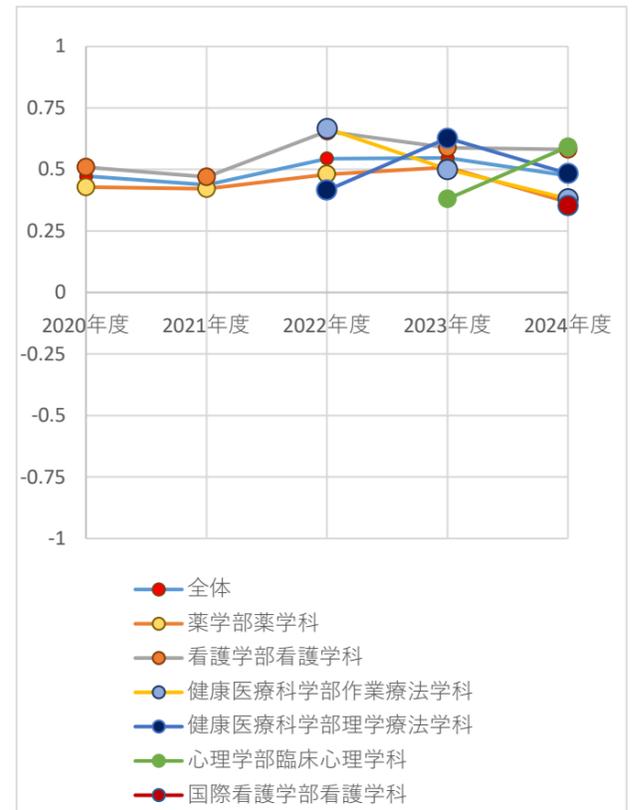
※2020年、2021年の全学部には募集



2.0. 創造的、論理的思考力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.47	0.44	0.54	0.55	0.47
薬学部薬学科	0.43	0.42	0.48	0.51	0.37
看護学部看護学科	0.51	0.47	0.65	0.59	0.58
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.67	0.50	0.38
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.42	0.63	0.48
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.38	0.59
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.35

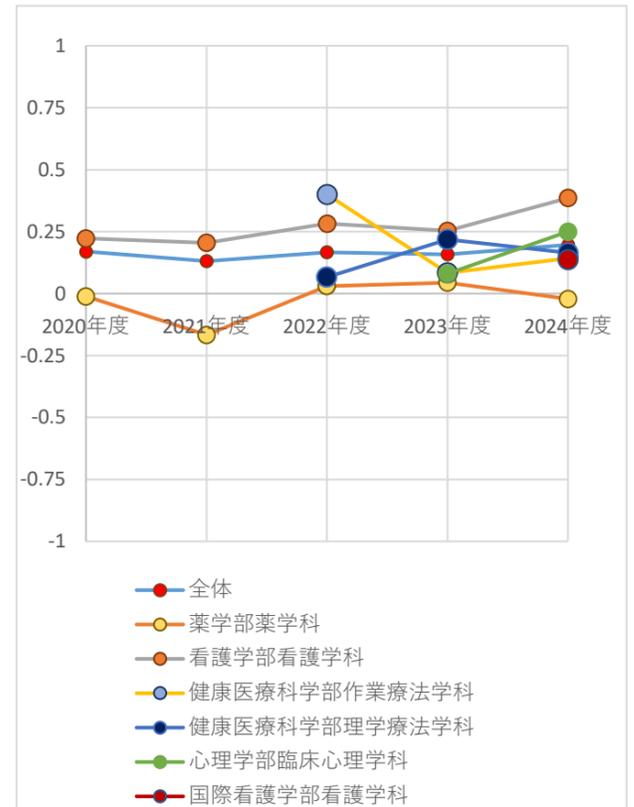
※2020年、2021年の全学部には募集



2.1. 国際感覚、異文化理解力、外国語運用能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.17	0.13	0.17	0.16	0.20
薬学部薬学科	-0.01	-0.17	0.03	0.04	-0.02
看護学部看護学科	0.22	0.20	0.28	0.25	0.39
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.40	0.08	0.14
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.07	0.22	0.16
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.08	0.25
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.14

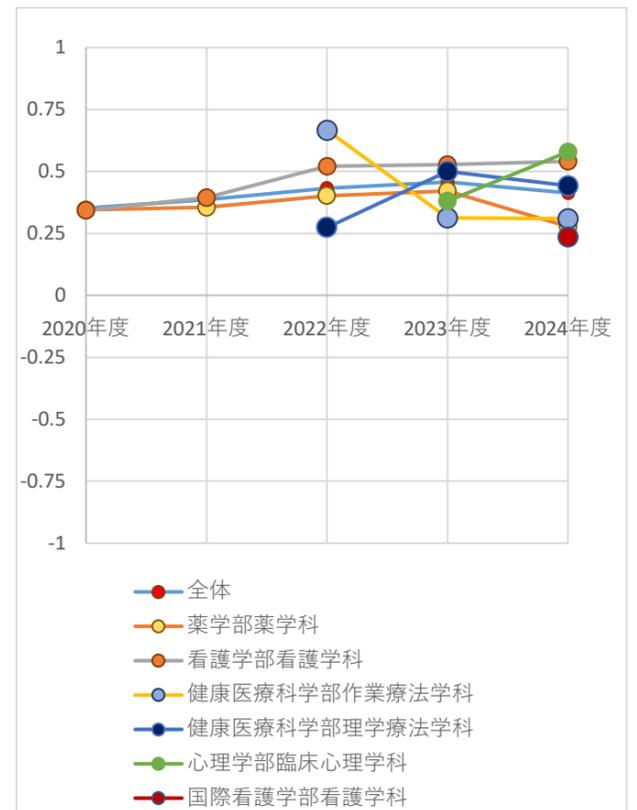
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



2.2. 読解力、文章表現力、数的処理能力

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.35	0.39	0.43	0.46	0.41
薬学部薬学科	0.35	0.36	0.40	0.42	0.28
看護学部看護学科	0.34	0.39	0.52	0.53	0.54
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.67	0.31	0.31
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.27	0.50	0.44
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.38	0.58
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.24

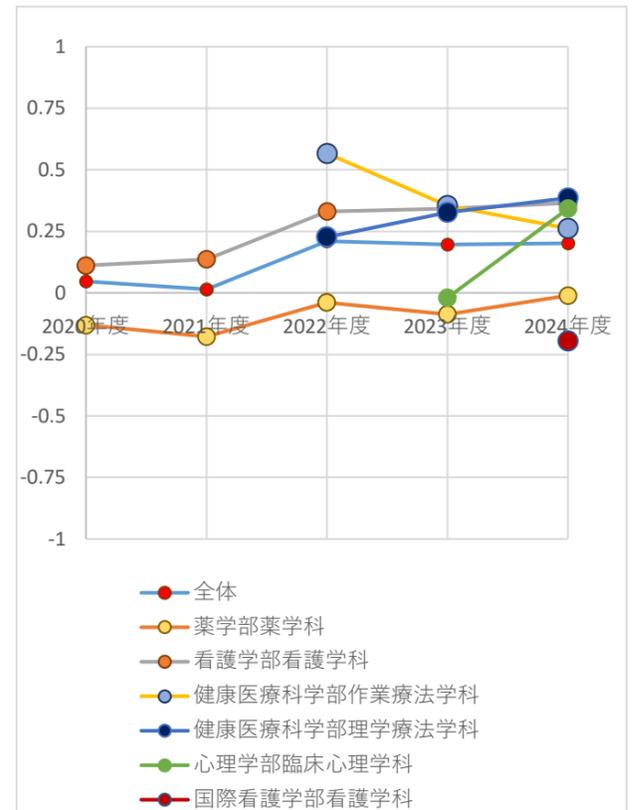
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



2.3. ボランティア活動

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.05	0.01	0.21	0.20	0.20
薬学部薬学科	-0.13	-0.18	-0.04	-0.09	-0.01
看護学部看護学科	0.11	0.14	0.33	0.34	0.36
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.57	0.35	0.26
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.23	0.33	0.39
心理学部臨床心理学科	-	-	-	-0.02	0.34
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	-0.20

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



24. 上記、設問9～23の「身につけた力」について、具体的な内容がありましたら、お書きください。

詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

専門的知識: 薬学に関する専門的な知識が身についた。

国家試験合格に向けた取り組み: 国家試験合格と薬剤師国家資格取得を目指して学び、専門性を深めた。大学の4年次編入での目的意識が強調されている。

接客能力: 患者や顧客との接する能力が向上した。

学習習慣: 自己学習の習慣が身につき、学業に対する意識が高まった。

看護学部 看護学科

コミュニケーション能力: 様々な人との交流を通じて、コミュニケーション能力とリーダーシップ能力が身についた。

自己の看護観の確立: 1年次から4年間を通じて自己の看護観が確立され、看護師としての自覚が深まった。

周囲を考える力: 他者との関わりを通じて、自分だけでなく周囲を見る大切さが身につけられた。

健康医療科学部 作業療法学科

自己学習能力: 自学自習の方法を学び、効果的な学習ができる能力を身につけた。

ボランティア活動: 学生ボランティア団体での活動を通じて実践的な経験を得た。

健康医療科学部 理学療法学科

問題解決能力: 実習を通じて問題解決のプロセスを学び、臨床現場での思考力を高めた。

表現力: 大人数を前にしたスライド発表の経験を通じ、分かりやすい伝え方や言葉の抑揚を身につけた。

学びへの心構えの変化: 実習に臨む際の心構えが変わり、実践的な取り組みに対する意欲が増した。

心理学部 臨床心理学科

英語力の向上: 英会話の時間を通じて英語に関する知識が深まった。

広い視野での思考: 様々な社会問題や地域の課題を考える力がつき、自らの行動について深く考えるようになった。

福祉分野での活動参加: 主体的に福祉分野のボランティア活動に参加し、実践的な経験を得た。

国際看護学部 看護学科

自発的行動力: 自ら進んで行動する力が身につき、チャレンジ精神が育まれた。

国際感覚の養成: 国際的な視点や感覚を持つ力が養われたが、他学部でも同様の成長があると感じている。

実習を通じた学びの経験: 多くの学びや経験が得られ、実習を通じて自己成長を実感した。

25. 上記、設問9～23の項目以外で在学中に身につけることができたと思うことがありましたらをご記入ください。

詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

学会発表の経験: 学会での発表に参加することで、プレゼンテーションスキルや専門知識の発表能力が向上した。

コミュニケーション力: さまざまなプロジェクトやグループワークを通じて、他者とのコミュニケーション力が向上した。

薬の知識: 薬剤に関する知識が深まり、専門的な領域の理解が促進された。

看護学部 看護学科

専門的な技術や技能: 看護に必要な専門的な技術や技能、さらにそれを身につけるための忍耐力が形成された。

社会経験: マクドナルドでのアルバイトを通じて、社会に出る経験を積むことができた。

特に身につけたことがない: その他、具体的な成長や身につけた内容は特にないとの意見が多い。

健康医療科学部 理学療法学科

学習能力: 効率的な学習方法や自己管理能力が向上したと感じる学生の声があった。

留学経験: 留学を通じて異文化理解や語学力の向上を実感した。

心理学部 臨床心理学科

課題に向き合う体力: 課題に対して向き合うための精神的・肉体的な体力が身についたと感じている。

国際看護学部 看護学科

人に期待しないこと: 事務的な問題に対し、他人に依存せず自立した姿勢を身につけた。

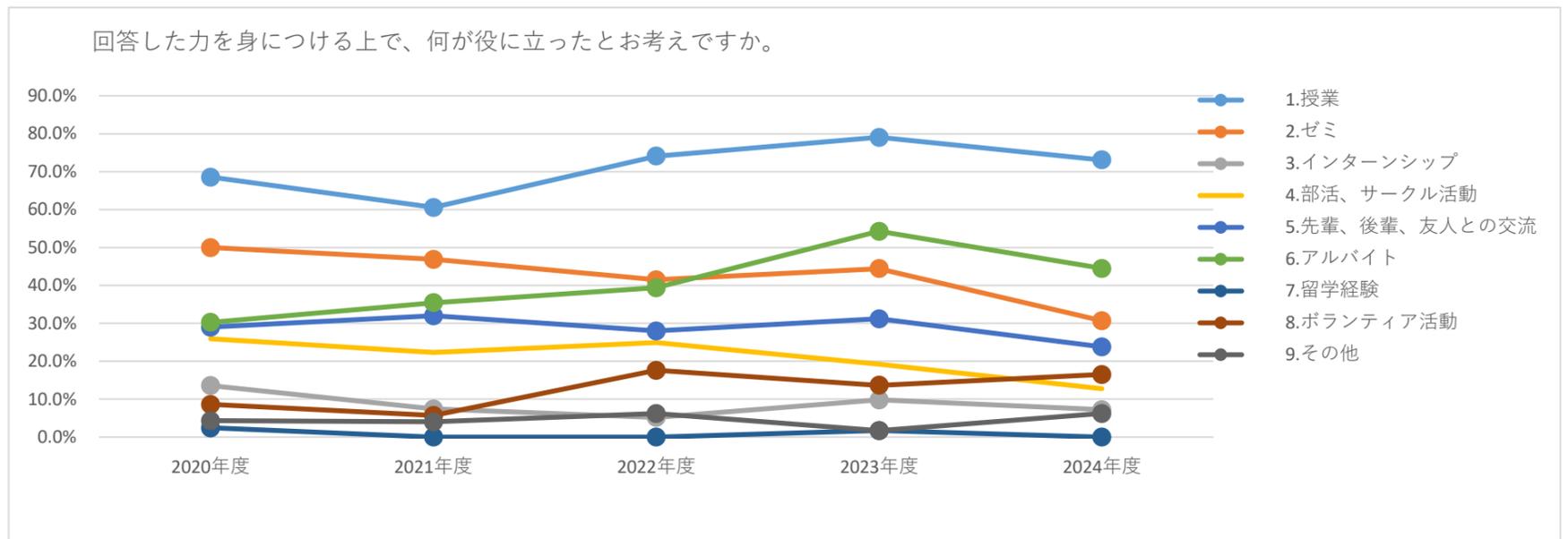
バイトと勉強の両立: アルバイトと学業を両立させる中で、人間関係を構築するスキルが得られた。

自制心: 自分をコントロールする能力が高まったと感じる。

26. 上記問9～問25で回答した力を身につける上で、何が役に立ったとお考えですか。（複数回答可）

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
1.授業	111[人]	68.5%	106[人]	60.6%	143[人]	74.1%	185[人]	79.1%	212[人]	73.1%
2.ゼミ	81[人]	50.0%	82[人]	46.9%	80[人]	41.5%	104[人]	44.4%	89[人]	30.7%
3.インターンシップ	22[人]	13.6%	13[人]	7.4%	10[人]	5.2%	23[人]	9.8%	21[人]	7.2%
4.部活、サークル活動	42[人]	25.9%	39[人]	22.3%	48[人]	24.9%	45[人]	19.2%	37[人]	12.8%
5.先輩、後輩、友人との交流	47[人]	29.0%	56[人]	32.0%	54[人]	28.0%	73[人]	31.2%	69[人]	23.8%
6.アルバイト	49[人]	30.2%	62[人]	35.4%	76[人]	39.4%	127[人]	54.3%	129[人]	44.5%
7.留学経験	4[人]	2.5%	0[人]	0.0%	0[人]	0.0%	4[人]	1.7%	0[人]	0.0%
8.ボランティア活動	14[人]	8.6%	10[人]	5.7%	34[人]	17.6%	32[人]	13.7%	48[人]	16.6%
9.その他	7[人]	4.3%	7[人]	4.0%	12[人]	6.2%	4[人]	1.7%	18[人]	6.2%

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を



※詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

27. 上記問26で「その他」を選択した方は、その他、役に立ったことをご記入ください。

詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

実務実習: 病院及び調剤薬局での実務実習を通じて、実践的な知識やスキルが身についた。

看護学部 看護学科

特になし: 特に役に立ったことがないとの意見がいくつか見受けられた。

環境の影響: 家に帰ってからの過ごし方やその環境が、自分の成長に影響を与えた。

領域別実習: 領域別の実習や統合実習が、看護の専門性を深める役に立った。

学校外での居場所作り: 学校外で自分のコミュニティを築くことが、社会的なつながりに役立った。

健康医療科学部 作業療法学科

実習: 実習を通じて、理論と実践を結びつける経験が得られた。

健康医療科学部 理学療法学科

実習: 実習が多く、実践的なスキルや知識を磨く機会を提供された。

課外活動: 市内で行われる課外活動が、地域との関わりや実践的な経験に役立った。

心理学部 臨床心理学科

実習: 実習経験が、専門知識の応用に役立った。

勉強会での学び: 外部での勉強会や集まりの場で学んだ知識や経験を実践に活かすことができた。

国際看護学部 看護学科

実習: 実習が重要な学びの機会となっており、実践的なスキルが向上した。

教員との関わり: 一部の教員との関わりが、自分にとって良い影響を与えた経験があった。

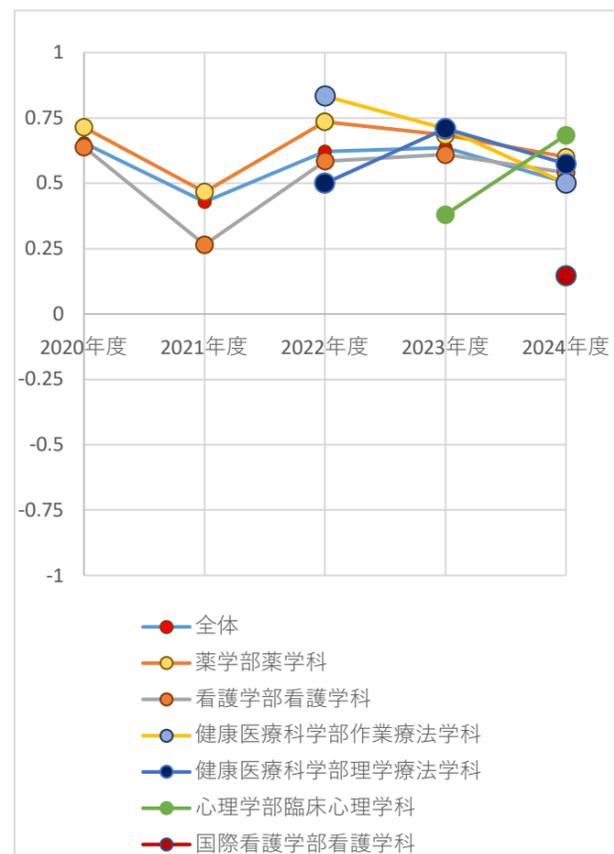
■総て外部の学生との交流: 自発的に他大学や他学部の学生と交流を持つことで、視野を広げることができた。

28. 所属の学部学科に入って良かったと思いますか? 該当する番号を選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.65	0.43	0.62	0.64	0.50
薬学部薬学科	0.71	0.47	0.74	0.68	0.60
看護学部看護学科	0.64	0.27	0.58	0.61	0.54
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.83	0.71	0.50
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.50	0.71	0.57
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.38	0.68
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.15

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の設定のない4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

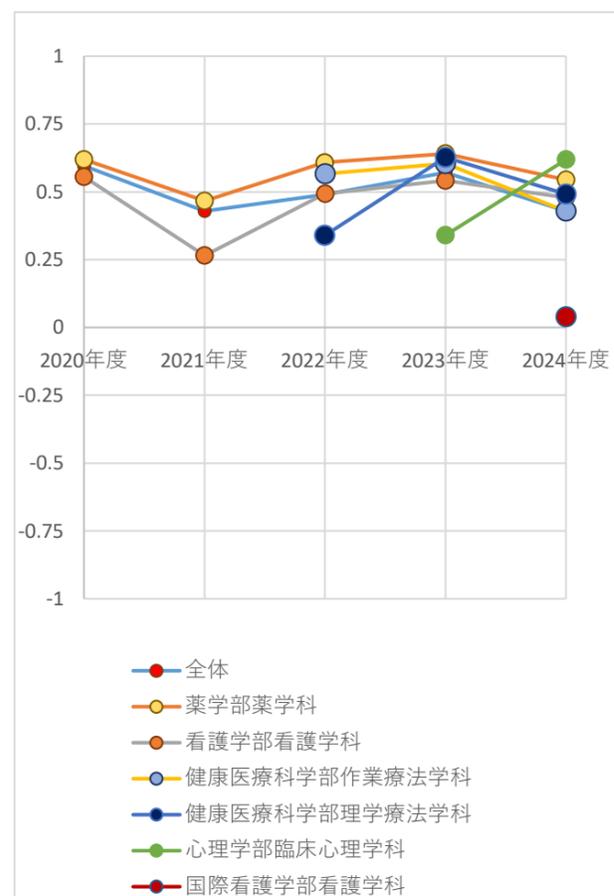


29. 卒業学部学科に対しての満足度をお伺いします。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.60	0.43	0.49	0.57	0.43
薬学部薬学科	0.62	0.47	0.61	0.64	0.54
看護学部看護学科	0.56	0.27	0.49	0.54	0.48
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.57	0.60	0.43
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.34	0.63	0.49
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.34	0.62
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	0.04

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない4段階評価としている。

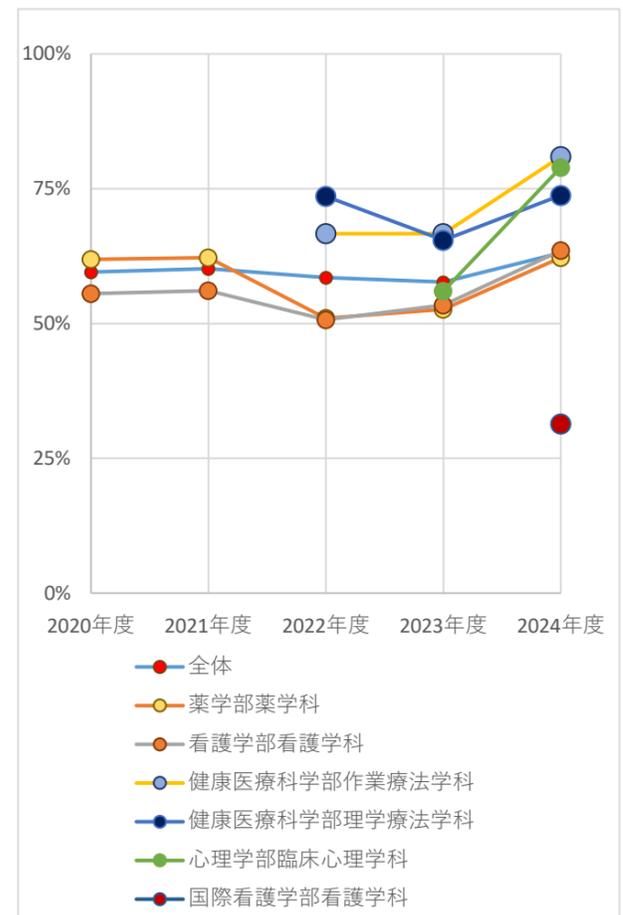
※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



30. 本学は第一希望の大学でしたか？該当する番号を選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	57.8%	60.2%	58.5%	57.7%	63.1%
薬学部薬学科	61.9%	62.2%	51.0%	52.6%	62.2%
看護学部看護学科	55.6%	56.1%	50.7%	53.4%	63.5%
健康医療科学部作業療法学科	-	-	66.7%	66.7%	81.0%
健康医療科学部理学療法学科	-	-	73.6%	65.5%	73.8%
心理学部臨床心理学科	-	-	-	56.0%	78.9%
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	31.4%

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む

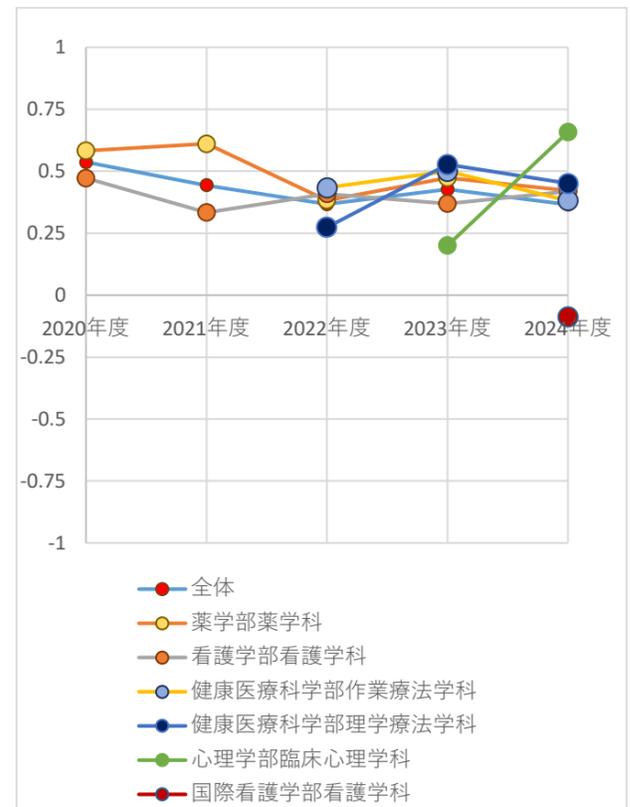


3.1. 卒業を迎えるにあたり、大学に対する評価を該当する番号から選択してください。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
全体	0.54	0.44	0.37	0.43	0.37
薬学部薬学科	0.58	0.61	0.38	0.47	0.42
看護学部看護学科	0.47	0.33	0.41	0.37	0.42
健康医療科学部作業療法学科	-	-	0.43	0.50	0.38
健康医療科学部理学療法学科	-	-	0.27	0.53	0.45
心理学部臨床心理学科	-	-	-	0.20	0.66
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	-0.09

※2020年度および2021年度は「どちらともいえない」の項目のない
4段階評価としている。

※2020年、2021年の全学部には募集停止学科を含む



生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

満足: 無事に卒業できたことを喜ぶ声や、薬剤師国家試験に合格できたことが評価されている。
課題を学ぶ意欲があれば、それをサポートする体制が整っている点が高く評価されている。
どちらともいえない: 具体的な意見は特になし。

看護学部 看護学科

満足: 看護職を目指し、様々な経験を通じて充実した成果が得られた。
チューター制度があり、教員との距離が近く、相談しやすい環境を評価。
どちらかといえば満足: 4年間辞めずに卒業できたことに満足している。
どちらともいえない: 特に意見はなく、あいまいな評価。

健康医療科学部 作業療法学科

どちらかといえば満足: 他学部や他学科との関わりが薄いため、医療人の育成としての連携を強化してほしいとの意見。
どちらともいえない: 満足点も不満点もあるが、特にどちらに傾くことはないとする学生もいる。
どちらかといえば不満: Wi-Fiの安定性に関する不満がある。

健康医療科学部 理学療法学科

満足: 国家試験に向けての知識を身につけたという満足感が強い。
教員が親身であったため、安心して学べたという意見も。
どちらかといえば満足: 楽しく学んだことや、地域との交流が良かったとの意見が見受けられる。
どちらともいえない: 大学周辺の環境や教員の連絡の遅さに対する不満がある。

心理学部 臨床心理学科

満足:支援体制が充実しており、安心して学生生活を送れたとの評価。

一部教員の指導には問題があったが、多くの教員が良かったことから満足度が高い。

どちらともいえない: 特定の問題や圧力を感じている学生もいる。

国際看護学部 看護学科

どちらかといえば満足: 教員との連絡の問題や国家試験対策の充実が評価されている。

どちらともいえない: 事務との連絡に不安を感じている学生が多く、透明性の欠如を指摘。

32. あなたの家族や親類、友人や知人が本学への入学を検討している場合、進学を勧めますか。
10(強く勧める)~0(まったく勧めない)の数値を選択してください。

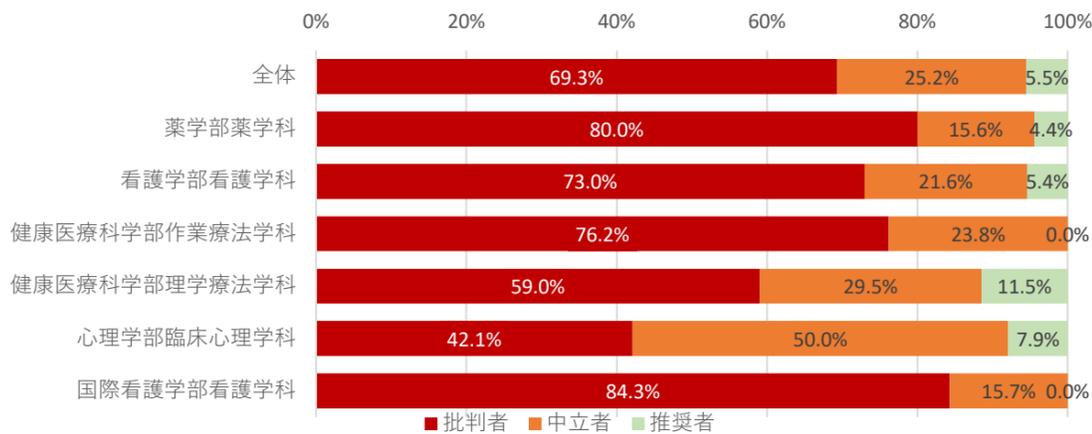
	2024年度				2024年度				対前年 (NPS差分)
	批判者 0~6	中立者 7~8	推奨者 9~10	NPS	批判者 0~6	中立者 7~8	推奨者 9~10	NPS	
全体	58.5%	32.9%	8.5%	-50.0%	69.3%	25.2%	5.5%	-63.8%	-13.8%
薬学部薬学科	45.6%	45.6%	8.8%	-36.8%	80.0%	15.6%	4.4%	-75.6%	-38.7%
看護学部看護学科	74.0%	20.5%	5.5%	-68.5%	73.0%	21.6%	5.4%	-67.6%	+0.9%
健康医療科学部作業療法学科	58.3%	37.5%	4.2%	-54.2%	76.2%	23.8%	0.0%	-76.2%	-22.0%
健康医療科学部理学療法学科	49.1%	36.4%	14.5%	-34.5%	59.0%	29.5%	11.5%	-47.5%	-13.0%
心理学部臨床心理学科	64.0%	28.0%	8.0%	-56.0%	42.1%	50.0%	7.9%	-34.2%	+21.8%
国際看護学部看護学科	-	-	-	-	84.3%	15.7%	0.0%	-84.3%	-

※サンプル数が少ないため、他集団(学年)の予測値としては利用できません。

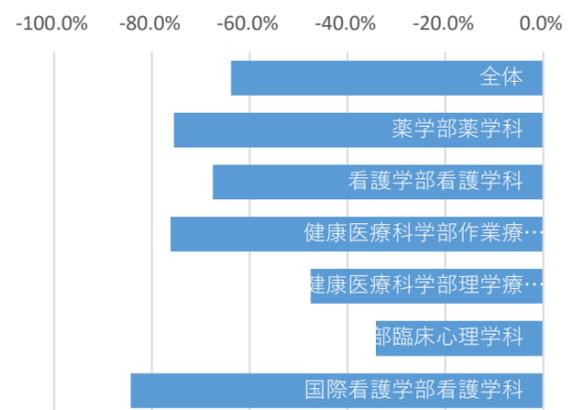
NPS = 推奨者 - 批判者

出典:NTTコムオンライン

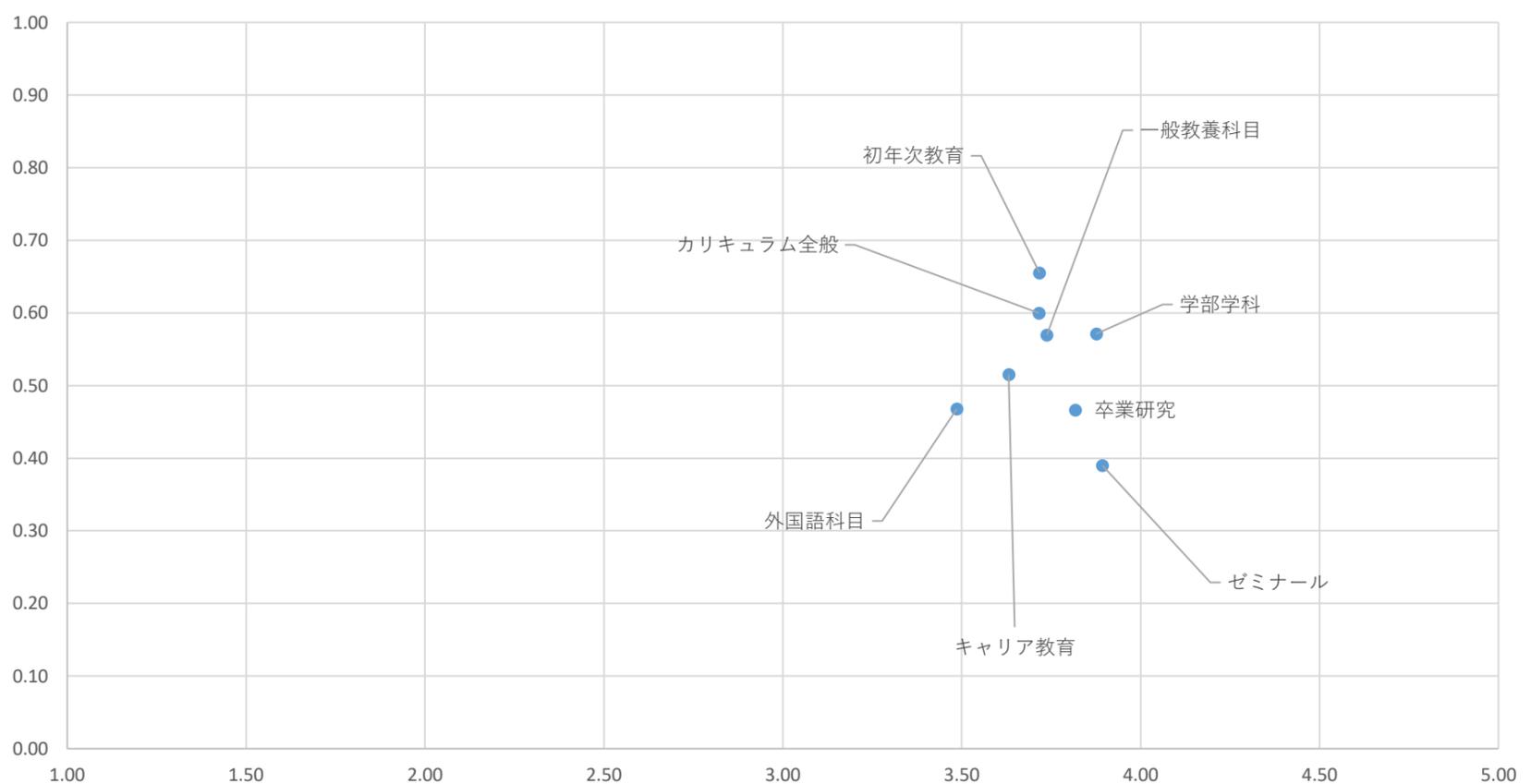
2024年度 回答



2024年度 NPS



■NPSと教育に対する満足度の各項目との相関



33. 大学生活で1番楽しかったことを教えてください。

詳細は詳細は自由記述編をご覧ください

生成AIによる自由記述の要約

薬学部 薬学科

友人との出会い: 大切な友人や気の合う人との出会いを評価する声が多い。
遊びや旅行: 春休みに帰省して遊んだり、友人と旅行した楽しさがあった。
学食や勉強: 学食の美味しさや、クラスメイトと共に勉強した経験が特に楽しかったとされる。
サークルや実習: 学園祭やサークル活動など、多様な活動を楽しんだという意見も。

看護学部 看護学科

実習経験: 実習での学びや経験、患者と接することから得たやりがいがあった。
友人との交流: 友達と過ごしたり、食事をする時間が特に楽しかったとの声。
学内活動: 学園祭やゼミ活動、お昼の時間を友人と過ごすことが印象に残っている。
その他の活動: ベストフレンドとの時間や、アルバイトの経験も評価されている。

健康医療科学部 作業療法学科

友人との交流: 普段の日常や学科内での交流を楽しんだ。
グループワーク: 友人とのグループワークや勉強を通して得た思い出が多かった。
作業療法関連の活動: 陶芸や草細工といった作業による学びが楽しかったと感じる学生がいる。
実習や国試勉強: 同じ目的で勉強した仲間と過ごす時間が楽しいと評されている。

健康医療科学部 理学療法学科

友人との交流: 学校での友人との関わりや日常生活が楽しかったとの意見が多数。
グループワーク: 友達と一緒に取り組んだグループワークの経験が楽しさを感じさせた。
サークル活動: サークル活動や、日常の中での仲間との経験が印象的であった。
BBQやクラス会: BBQやクラス会など、イベントでの思い出も挙げられている。

心理学部 臨床心理学科

ゼミ活動: ゼミでの活動や学びが特に楽しかったとの意見が多数。
実験や考察: 研究活動や実験を通じて得た楽しい経験が多かった。
学生生活: 友人との日常的な交流やサークル活動も充実した時間を提供した。
学園祭: 学園祭での活動や経験が楽しかったとする声が目立っている。

国際看護学部 看護学科

友人との交流: 多くの友人との出会いや交流が楽しかったという意見が多い。
実習経験: 実習を通して学んだことや患者との関わりに喜びを感じる声があった。
支え合う友人: 国試勉強を仲間と切磋琢磨しながら行った経験が楽しい思い出になっている。
サークル活動: サークルでの活動や友達との遊びが特に楽しかったと感じる学生も多い。